

停止からの復活の異動願(届)

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり願出(届出)いたします。

貸与奨学金及び給付奨学金(旧制度)の「異動願(届)」は様式が異なります。別途作成してください。

										届出年月日		20		年		月		日			
										学籍番号		西暦									
学校名												生年月日									
学部・学科 (課程・研究科)										フリガナ				学年				年			
奨学生番号										氏名 (自署)		(奨学生の自署が必要)									
5										2		0									

以下、該当する復活の種類を☑で選択。太枠は必須。

記入者		☐ 【復活(本人都合)】		※停止時に振込超過がある場合は復活処理ができないため、返戻が必要。					
奨学生		復活希望年月※		※届出年月日の翌月(月の初日はその月)以降で、給付奨学金の支給の「復活」を希望する年月を記入。海外留学支援制度(協定派遣)を受給している場合は、届出年月日の翌月(月の初日はその月)以降かつ、受給が終了した翌月以降本人が希望する年月を記入。 上記以外は無効とし、届出年月日の翌月(月の初日はその月)を復活希望年月として「復活」を行う。海外留学支援制度(協定派遣)を受給していた場合は、届出年月日の翌月(月の初日はその月)以降かつ、受給が終了した翌月以降で直近の年月を復活希望年月として「復活」を行う。					
学校		卒業期※		※学籍確認のため「卒業期」の記入は必須。					
		20		年		月		(見込)	

【留学情報】 学校記入欄。該当するものを☑で選択する。				【留学情報】欄の記入の注意点													
国名				※1 通常はいずれか1つに☑を付ける。留学中に複数の身分が存在する場合は☑を付けず、□内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。													
留学時の身分※1		☐ 留学 ☐ 在学		※2 通常は1.に「留学時の身分」欄で☑を付けた期間を記入する。「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄に☑でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。													
上記で選択した身分の期間※2		1.20		年		月		日		20		年		月		日	
		(2.20		年		月		日		20		年		月		日)	
国費情報※3		☐ 海外留学支援制度(協定派遣) ☐ 官民協働海外留学支援制度		※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。													
受給期間:		20		年		月		20		年		月					

以下、学校記入欄

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校の証明) 20

学 校 名

関係課長※

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

連絡事項記入欄

--	--	--

電話番号 (担当者名)		学 校 番 号		区 分	
— —					
()					

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

(機構使用欄)

最終振込年月	20	年	月	振込超過	☐ 有	☐ 無	20	年	月	20	年	月	要返戻金額	円
--------	----	---	---	------	----------------------------	----------------------------	----	---	---	----	---	---	-------	---

提出先	郵送の可否	スカラAC入力
異動・補導係	必要	入力不可

「停止からの復活の異動願(届)」の記入例

記入者	☒ 【復活(本人都合)】			※停止時に振込超過がある場合は復活処理ができないため、返戻が必要。
奨学生	復活希望年月※	20 23 年 10 月	※ 届出年月日の翌月(月の初日はその月)以降 で、給付奨学金の支給の「復活」を希望する年月を記入。海外留学支援制度(協定派遣)を受給している場合は、届出年月日の翌月(月の初日はその月)以降かつ、受給が終了した翌月以降本人が希望する年月を記入。 上記以外は無効とし、届出年月日の翌月(月の初日はその月)を復活希望年月として「復活」を行う。海外留学支援制度(協定派遣)を受給していた場合は、届出年月日の翌月(月の初日はその月)以降かつ、受給が終了した翌月以降で直近の年月を復活希望年月として「復活」を行う。	
学校	卒業期※	20 25 年 3 月(見込)	※学籍確認のため「卒業期」の記入は 必須 。	

【留学情報】 学校記入欄。該当するものを ☒ で選択する。	
国名	アメリカ合衆国
留学時の身分※1	☒ 留学 ☐ 在学
上記で選択した身分の期間※2	1. 20 22 年 10 月 1 日～ 20 23 年 9 月 30 日 (2. 20 年 月 日～ 20 年 月 日)
国費情報※3	☐ 海外留学支援制度(協定派遣) ☒ 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 20 22 年 10 月 ～ 20 23 年 9 月

※1 通常はいずれか1つに☒を付ける。留学中に複数の身分が存在する場合は☒を付けず、□内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。

※2 通常は1.に「留学時の身分」欄で☒を付けた期間を記入する。「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄に☒でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。

※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。

●本人都合による「停止」からの「復活」の注意点

- ・奨学生本人の自署が必要。
- ・届出年月日の翌月(月の初日はその月)以降、かつ海外留学支援制度(協定派遣)の受給が終了した翌月以降で、奨学生が給付奨学金の支給の「復活」を希望する年月を記入。

(例：複数の身分が存在する場合の書き方)

【留学情報】 学校記入欄。該当するものを ☒ で選択する。	
国名	アメリカ合衆国
留学時の身分※1	☒ 2 留学 ☒ 1 在学
上記で選択した身分の期間※2	1. 20 22 年 8 月 15 日～ 20 22 年 9 月 30 日 (2. 20 22 年 10 月 1 日～ 20 23 年 9 月 30 日)

↑学籍上の身分が「留学」の前に「在学」の身分で渡航し、学校がそれを留学と認めて「休止(留学)」とする場合はこのように記入する。

一方、学籍上の身分が「留学」で2022年10月1日から始まる場合は、「留学」を☒で選択し、「上記で選択した身分の期間」欄の1に留学期間のみを記入する。